



正覚寺だより

第 78 号

令和 8 年
1 月 15 日

ここに来ると
なんだか
ほっとして
わくわくする





2025 年 11 月 16 日
ご講師 舟川智也師
法話より



真実が見えず 苦しみの只中^{ただなか}にある私を救おうと

阿弥陀さまが自ら立ち上がって 足を運んでくださる

真実が見えない私

ある少年の話。祖父に「米粒の中には仏さまが^{やど}宿のだから、無駄にするなよ」と教えられ育ちました。ところが成長して、米粒を顕微鏡で見るとそこに仏さまの姿はありませんでした。少年は「おじいちゃんは嘘つきだ！」と祖父に言いました。それでも、祖父は静かに「嘘ではないよ」と答えます。やがて少年は大人になり、ようやく気づきま

した。祖父は米の成分のことを言うたのではない。米粒には、天候のめぐり、人の労苦、宇宙全体のはたらきがつまっている。その尊さを、^{とうと}「仏さまが宿る」と言っていたのです。この少年のように、わたしたちは、見えるものだけで判断し、本当のことが見えていないのです。

腹の底で何を思っていようと、どんな生き方をしていようと

それでも私は、あなたを救う仏になっていくよ

無条件の救い

川で溺れる人を助ける時「お礼をくれるなら助ける」などとは言いません。目の前で苦しんでいる人を助ける。ただそれだけです。阿弥陀さまも同じです。「信じたら救う」「正しい行いをしたら救う」と条件をつけられま

せん。腹の底で何を思っていようと、どんな生き方をしていようと、それを問題にはなさらない。「それでも私は、あなたを救う仏になっていくよ」それが阿弥陀さまのお心なのです。

阿弥陀さまはどこか遠くにおられるのではない

私とともに いのちを生きてくださっているのです

阿弥陀さまがご一緒くださる尊い命

折に触れて、愚痴^{ぐち}を言ってしまうこの口。けれど、今、その同じ口から「南無阿弥陀仏」のお念仏がこぼれてくる。私のこの命の中に、阿弥陀さまが満ち満ちてくださっている。そして、この私を、

お念仏申す身に育てあげ、ご一緒くださるので。私ひとりの命ではない。阿弥陀さまがともに生きてくださる尊い命。そんな命を私たちは今、いただいているのですね。

諸仏如来はこれ法界身なり

一切衆生の心想のうちに入りたまふ『仏説観無量寿経』

仏はひろくすべての世界で
人々を教導される方であり、
どの人の心にも入り満ちてくださっている。



一々の光明は あまねく十方世界を照らし

念仏の衆生を攝取して 捨てたまはず 『仏説観無量寿経』

ひとつひとつの光明はすべての世界を照らし
て、仏を念じる人々を残らずその中におさめ
取り、お捨てになることがないのである。

受けとめがなかった浄土の世界が

いつのまにか身の置きどころとなっている

なんまんだぶつと手を合わす私 何がこの姿をうみだしてくれたのか

ひとつひとつの別れが お浄土に彩りを添えてくれる

法座にともに参加していたおばあちゃんが亡くなられ、お仏壇に手を合わせに行きました。生前、仲間が一人、また一人と亡くなるたびに「寂しいなあ」とこぼしておられたことを、娘さんから聞きました。その時、先輩がかけられた言葉があります。

「仲間が亡くなるたびに、寂しいことだったでしょう。けれども、その方々はお浄土へ参られましたね。いまごろは、大好きだった仏さまのお話に花を咲かせておられるでしょう。お浄土は、いっそう賑やかでありましようね」

照らされて育てられていく

人生には、さまざまな出遇いと別れがあります。別れはやはりつらいものです。けれど「あの人が参った世界だ」と手を合わせてみたことがご縁となり、お寺へお参りし法話を聞くようになりました。多くの別れが、私に浄土、お念仏を告げ、今

の私へと育ててくれたのでしょう。ひとつひとつの命が、それぞれの光を放っています。さまざまな人の命を通して、浄土とお念仏を受け取らせようと、仏さまが私にはたらいてくださっているのです。

仏の心 それは大いなる慈悲^{じひ}の心 みかえりを求めない愛

悲しみに共感し めぐいさろうとする心

浄土真宗の信仰に生きた九条武子さん

関東大震災後、孤児^{こじ}を育てる施設で盗みを繰り返す子がいました。14 回目で警察から「こちらで預かる」と言われ、職員の間でも預けることに決まりかけます。そのとき、施設長の九条武子さんは言いました。
「たった 14 回でこの子を諦めねばならないのか。私たちはどれほど罪を重ねたか。それ

でも仏さまは、私を見捨てなかったではないか」その言葉に支えられて子は戻り、やがて二度と同じ罪を重ねなくなりました。「こう生きなさい」と命じたからではなく、「思われている」という慈悲に触れたから、彼女の心は変わったのでしょう。

慈悲の心に触れたとき、おのずから生まれてくる心がある

正しさを知っていても、その通りに生きられない。だから…

私たちは正しい生き方を知らないわけではありません。頭ではわかっているけれど、その通りに生きられない。それが現実なのです。だからこそ、阿弥陀さまは「こう生きなさい」とおっしゃいません。正しさから逃げようとする私を、責めることなく、条件をつけ

ることもなく、追いかけてでも抱きとめ、決して離さない。その大きな慈悲が、すでに私に向けられている。その心に触れたとき、「これ以上悲しませない」「できるなら、喜んでいただける歩みを」そんな思いが、自然と起こってくるのではないのでしょうか。

前住職 橘堂正純による書

私を抱きとめて

決して離さない



クララが立った！なぜ？

『アルプスの少女ハイジ』のクララが立てた理由のひとつは、療養先のアルプスが日の光に満ち、食べ物が変わり、体の働きが整ったこと。もといた都会は黒煙に覆われ、日光に当たらない暮らしをしていたのです。人は光に当たらなければ、歩くことすらままならないのですね。

れんによしょうにん 蓮如上人と大阪



蓮如上人は室町時代に、親鸞聖人の教えを受け継ぐ本願寺の中心となって、お念仏の教えを人々に伝える役割を担われた方です。仏さまの教えを、お手紙の言葉で伝え、「南無阿弥陀仏」を書きしるして授け、生きるよりどころとして示されました。そして、各地を歩き、御坊を建て、人びとのつながりを育てていきます。その歩みの中で生まれたご縁が、やがて大阪という町へとつながっていくのです。今回はそんな蓮如上人と大阪のお話をします。

蓮如上人はどんな方？



蓮如上人（室町時代）
本願寺第八代宗主

蓮如上人の時代に本願寺教団は大きく飛躍したことから、「中興の祖」と呼ばれています

やさしい言葉で教えを届ける

御文章

阿弥陀さまのお慈悲のお心を多くの方に受けとめていただけるようにと、誰にでもわかるやさしい言葉でお手紙をしたためられました。



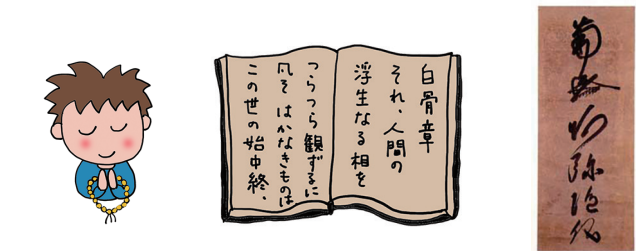
御文章といえば、おつとめの後、お坊さんがこちらを向いて読むお手紙だよ。しょうにんいちりゅうのごかんけのおもむきは～～



蓮如上人からお手紙をもらった僧侶が「このお手紙こそ、まことにありがたいご法語です」と伝えました。すると上人は、「そんな風に言わないで、やさしく「ふみ」と呼んでください」と応えられました。このことから、『御文』『御文章』と呼ばれるようになったんだよ



教えを特別なものにせず、だれにでも届くものであってほしいという想いがこめられていたんだね



正覚寺副住職



カルナくん
お寺に遊びにくる子ども



白い象
神聖な生き物

じない 大阪に寺内町が誕生

北陸・近畿の各地に御坊を建立

蓮如上人は比叡山からの迫害を受けて、京都を追われた後、北陸や畿内の各地に御坊を築き、布教の拠点としました。

- ・吉崎（福井県あわら市）・出口（大阪府枚方市）
- ・富田（大阪府高槻市）　・堺（大阪府堺市）
- ・山科（京都府山科市）…本堂を建設し本願寺を再興させた
- ・大坂（今の大阪城のあたり）…山科本願寺焼失後、本山に



大坂御坊が建てられたのは、「石山」と呼ばれる小高い土地でした。人家が一つも見えない寒々とした場所でしたが、蓮如上人はここが絶好のロケーションだと見抜かれたのです！

大坂の地は水陸にわたる交通の要衝

- ・北と東を淀川と大和川の大河が囲み、西は瀬戸内海
- ・堺という海外・ヨーロッパに通じる貿易港がある

↓

そこに大坂御坊が建てられ、集まった参詣者はやがて周辺で暮らしはじめ、次第に寺内町が形作られていきました。

↓

その中で、豪商たちの信仰が本願寺と深く結びつき、町の経済と文化を支えていきました。



蓮如上人はすごいね！
何もなかったところに、人が集まって町が生まれたんだね！



「大坂」という地名が登場する最古の文献が、蓮如上人の御文章なんだよ



えっ！
僕の住んでいる大阪の名前や歴史が、浄土真宗とすぐつながってる！なんだか嬉しいな



大阪城公園の中に蓮如上人の筆跡で「南無阿弥陀仏」と刻まれた石碑があります。これは、かつてこの地に石山本願寺があったことを伝えるものです。



みどうすじ 御堂筋と商都大阪



イルミネーションが綺麗な御堂筋

いしずえ 大阪の礎を築いたお念仏の信仰

北御堂と南御堂

大坂御坊は織田信長との争いにより、その地を離れなければならなくなり、その後、現在の地に移り建立したのが、北御堂です。真宗大谷派の南御堂と並び、大阪の人びとに親しまれました。

商業の中心「船場」の町

この南北両御堂の近くに人びとが集まり、商業の中心「船場」の町を築きました。「御堂さんの鐘の間聞こえるところで商売を」を合言葉に商いに精を出したといいます。

御堂筋

両御堂の門前をつなぐ道は、御堂筋と名付けられ、現在も商都大阪の流通の中心的役割を担っています。

ひらざ 平座の精神



蓮如上人は、身分・立場・性別で座る場所をわけず、同じ床に同じ高さで座る「平座の精神」を実践し、人々と親しくひざを交えて仏さまの話をしました。その精神に育てられた人びとが、同じ目線で話し合い、助け合い、大阪の町を作ったのかもしれないね

伊藤忠商事

創業者の伊藤忠兵衛は、近江商人の流れをくむ人物です。近江商人の世界では、浄土真宗の信仰が生活の中に深く根付いています。売り手と買い手が満足し、さらに社会にも貢献できるのが良い商売だとする「売り手よし・買い手よし・世間よし」という考え方も、こうした背景で育まれました。

大同生命保険

大同生命保険も、浄土真宗を信仰する商人たちによって設立されました。当時の商人たちは、病気や事故で働けなくなった仲間を、皆で支え合う仕組みを必要としていました。この相互扶助の発想は「一人を見捨てない」という浄土真宗のみ教えと深く響き合っています。



浄土真宗のみ教えは、生き方だけでなく、人や社会への向き合い方にも息づいていたんだね。

参考文献

- ・『高校生からの仏教入門』小池秀章
- ・『智慧のともしび一願証寺本 蓮如上人絵ものがたり』願証寺編
- ・『堺別院史』
- ・北御堂ミュージアム

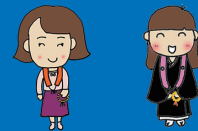


そうだ お寺へ行こう



泣いたり 笑ったり ほっとしたり

正覚寺は、これからも、誰もがこころ豊かに生きることができるよう、さまざまなことに取り組んでまいります。



1 年の締めくくりのおつとめです

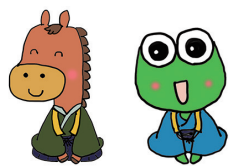
おつとめ じょやえ 除夜会



2025 年 12 月 31 日(水) 午後 10 時

新年のおつとめを正覚寺で

おつとめ がんたんえ 元旦会



2026 年 1 月 1 日(木) ～ 3 日(土)

午前 8 時・午後 4 時

親鸞聖人のご命日を共に

おつとめ しょうき ご正忌(親鸞聖人ご命日)法要

15 日の 14 時からはおぜんざいの接待があります！

1 月 14 日(水) 午前 8 時 午後 4 時

15 日(木) 午前 8 時 午後 2 時

16 日(金) 午前 8 時 午後 4 時

参加費 / 無料

持ち物 / お念珠



俳句を一度も作ったことがない方も、一緒に最初の一步を踏み出してみませんか

味わう やさしい俳句教室 (慧明山 俳句会)



大好評につき、第 3 回目開催！

1 月 31 日(土) 午後 2 時

ご講師 / 平石和美先生

参加費 / 2000 円 (当日現金支払)

申込 / 正覚寺のライン公式・電話

持ち物 / 筆記用具

平石和美先生プロフィール
1995 年 俳句を始める
俳句結社『幡』入会 のち退会
2014 年 俳句結社『銀化』入会
俳人協会会員 俳句甲子園審査員
句集『桜炭』『蜜豆』
エッセイ集『曇ひかりて一飯鳥晴子の風景』
facebook に「和美の目」掲載ほぼ毎日更新



80 分間ゆっくり呼吸しながら体をのばします

リラックス お寺ヨガ

毎月 第 1 月曜日 13:00~14:20

毎月 第 3 月曜日 10:00~11:20

ご講師 / 不死川麻子先生

参加費 / 500 円 (当日現金支払)

持ち物 / タオル・飲み物・ヨガマット (あれば)

予約 / 電話かライン公式で

(実施日の 1 ヶ月前から)

お茶を飲みながら、輪になって話しましょ

お茶& おしゃべり

正覚寺法座&さろん



毎月 15 日 午後 2 時

内容 / しょうしんげ 正信偈・法話・さろん

参加費 / 無料

持ち物 / 念珠

毎月、親鸞聖人のご命日に合わせておつとめをしています。
参加者みんなで、お茶を飲みながら話をします。

遠方の方、若い方、高齢の方、初めての方、久しぶりの方、いつもの方
その時だけの参加者でさまざまな話ができることが「さろん」の醍醐味です。

令和 7 年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業 詳細は別途お配りするチラシ・ライン公式・Instagram で

楽しむ

CROSS BORDER まだ知らない世界と出会う

2 月 28 日(土)

20 店のにぎやかなバザールも！

＊タブラとフラメンコギター ライブ

U-zhaan × 沖仁！！超豪華なライブが間近で！

＊音！リズム！「クロスボーダー・セッション」

アフリカの楽器をみんなで演奏！自由なセッションを体験してみよう！

＊ゆるっと、茶の湯「クロスボーダー・オアシス」

大阪・関西万博で茶会を企画した宮本雅代さんが催しを考案！

＊麻田弘潤さんの消しゴムはんこ版画展

関西初！景品がもらえる麻田さんのオリジナルはんこラリーも！

＊副住職のシルクロードのおはなし

& 消しゴムはんこワークショップ

実は身近なところに、シルクロードから伝わったモチーフがあるんです
麻田弘潤さんが作ったシルクロードのはんこを押せるワークショップも！



「歌う尼さん」やなせなな師の包容力あふれる歌声と美しいメロディ

歌とお話

永代経法要(春のお説教)

ご先祖のご縁によって、私たちはお釈迦さま・親鸞聖人のみ教えに出会うことができました。このご縁が子や孫へと受け継がれ、お念仏のみ教えが永代にわたって伝わるようにとつとめられるのが永代経法要です。

3 月 28 日(土) 午後 2 時と午後 7 時

ご講師 / やなせなな 師

参加費 / 無料



やなせなな師プロフィール
奈良県教恩寺住職
2004 年シングル『帰ろう。』でデビュー
これまでに 5 枚のシングルと、ベスト盤、セルフカバー集を含む 8 枚のアルバムをリリースし、CM ソングやゲームの主題歌、劇中歌などに使用される。
30 歳で子宮体ガンを克服した経験と、寺院で暮らす僧侶という視点を生かし、生死の苦悩の先に広がる救いや、いのちのぬくもりを伝える楽曲を数多く発表。
包容力あふれる歌声と美しいメロディ、慈しみに満ちた唯一無二の世界観が持ち味で、年代・性別を超えた幅広い層から確かな支持を獲得している。

ご本山の清掃奉仕を通して、み教えとともに生かされる経験を仲間と味わいましょう

味わう

ねんぶつほうしだん

念仏奉仕団

宿泊：もんぼう 聞法会館

10 回参加で記念品がもらえます！

5 月 7 日(木) ～ 8 日(金)

次項で詳しくご案内しています



ひがんえ 春の彼岸会

3 月
19 日(木)～21 日(土)

午後 4 時

花まつり

4 月 5 日(日)
午後 2 時

ビンゴやゲームで
みんなで楽しもう

五箇荘 はるまつり

4 月末定
桂吉弥
笑福亭純瓶

五箇荘地域会館にて

うらぼんえ 于蘭盆会

8 月 15 日(土)

午後 2 時

秋の彼岸会

9 月
22 日(火)～24 日(木)

午後 4 時



ねんぶつほうしだん

念仏奉仕団に参加しませんか



念仏奉仕団とは、全国各地から参拝した門信徒などの団体が、本願寺ご住職（ご門主）とのご面接、本山の清掃奉仕、法話を通じて、仏縁を深めます。正覚寺からも皆さまと共に参加したく、企画することにしました。

多くの方のご参加をお待ちしております。

年月日

2026年5月7日(木)～8日(金) 1泊2日

宿泊場所

もんぼう 聞法会館（本願寺の北隣）

費用

約13000円＋交通費

上記費用の中に、宿泊費、1日目夕食費、2日目朝食費が含まれます。

西本願寺へは、電車を予定しております。個人で車で行くこともできます。（無料駐車場あり）

おすすめポイント

- ・国宝の阿弥陀堂、御影堂、白洲境内地、百華園などを清掃。
乾いた布で拭き掃除や掃き掃除をします。（1時間程度を2回）
無理なことはせず、マイペースでできます。

- ・ご門主と正覚寺の皆で記念撮影があります。
- ・国宝「鴻の間」でお抹茶の接待があります。

- ・朝のおつとめに参加。厳かな雰囲気の中、阿弥陀さまのはたらきの中にいる私を、ともに味わいましょう。
- ・法名をいただく帰敬式を受けることができます。生きている今、法名を授かります。

帰敬式は、いす席や車いすでも受けていただけます。

- ・もちろん帰敬式を受けない方や、すでに法名をお持ちの方もご参加ください。
- ・全国からの参加者との交わりも楽しい！



定員

30名

（おひとりでも、お知り合い同士でも）



朝食・夕食は聞法会館内の「がんこ」で



お抹茶をいただきます

お申込と締切日

- ・帰敬式を希望される方
 - ・法名を本願寺に名付けていただきたい方は **3月20日まで**
 - ・法名に希望の文字を入れるなど、副住職と相談のうえ名付けたい方は **3月3日まで**
- ・帰敬式を受けない方
 - ・ **4月1日まで**

参加人数・参加者名を添えて、正覚寺まで、お電話かラインでお申し込みください。

行程

- ・1日目 12:30 本願寺集合
- ・2日目 12:00 本願寺解散
昼食を楽しんだのち、帰路へ

参加者の声

- ・厳肅な雰囲気もあり超一流の文化財にも触れ、充実した二日間でした。楽しくて学ぶことが多かったです！
- ・すべてが新鮮でした。皆さんと色々な話に花が咲き、時間がすぐに過ぎてしまい、アツというまでした。
- ・貴重な体験をさせていただきました。
- ・奉仕と言っても、内陣をゆっくり見せてもらったり、他の奉仕団の方と交流する良い機会となりました。
- ・法名をいただき忘れられない日となりました。本山中、厳かに行われた式を受け、前門主さまにおかみそりをして頂いたのは本当に良い思い出となりました。
- ・信仰心のない私が参加させて頂いても良いのかと思いましたが、色々な体験をさせて頂いて、心が清らかになった気がいたしました。
- ・本当に楽しかったです。10回参加して記念品をいただくという目標ができました！

ほうみょう

法名とは仏教に生きる人がいただく名前



法名って亡くなった人の名前だと思っていたよ。仏教に生きる人がいただく名前なのだね。ぼくが生きている今、何か変わるの？



カルナくんの「いのち」が死んでいくいのちから、生まれ往くいのちに変わるんだよ。死んで終わらない、お浄土に生まれて往くいのちだよ。

法名 釋響麻



法名は漢字2文字とし、お釈迦さまのお名前「釋尊」の1字をいただいた「釋」の字を上冠します。



3文字って決まっているんだね。もっと長い名前をもらう人もいるって聞いたことがあるよ



浄土真宗のみ教えは、みな等しくともに浄土への道を歩ませていただくという教えですから、「釋〇〇」の法名以外に「信士・信女・居士・大姉」などの修行形態をあらわす位号などは必要ないんだよ。

法名の冥加金

成人：1万円 未成年：5千円

＊希望の文字を入れるなどの場合、別途1万円以上の懇志（当日現地にてお納めください）

※記念撮影・ご面接が第1日目の場合					
第 1 日 目			第 2 日 目		
時 間	内 容	会 場	時 間	内 容	会 場
			6:00 晨朝後	<開門時間> 通年 5時30分	
				晨 朝	阿弥陀堂 御 影 堂
				御堂布教	
				帰 敬 式	
				朝 食	各 宿 舎
	9:00	集 合	安穩殿2階		
	10:00	清掃奉仕	境内清掃場所		
		抹茶接待 書院拝観	書 院		
		11:00	お西さんの法話	御 影 堂	
	11:30	閉 会 式	安穩殿2階		
	12:00	解 散			
	13:00	集合・受付	安穩殿2階		
		オリエンテーション ・引率者会議			
		14:00	開 会 式	御 影 堂	
		14:20	清掃奉仕	境内清掃場所	
15:25		記念撮影・ご面接	御影堂または 百華園		
16:00	法 話	安穩殿2階			
16:30	解 散 <閉門時間> 通年 17時				
境内清掃場所 ・両堂・渡り廊下・喚鐘廊下 ・白洲境内地 ・百華園 ・書院（虎之間・鴻之間・大玄関 東狭屋之間・北狭屋之間） ※上記いずれかの場所を清掃奉仕いただきます					

※天候や法要・行事等の諸事情により、日程内容(時間・場所)を変更する場合があります

人生の新たなスタートラインに



戒律のひとつも守ることがむずかしい私たちを、必ず救い、浄土へ迎えるという阿弥陀さまのはたらきを「法」と呼びます。その「法」の中に生かされている私たちがいただく名前が「法名」なのです。



僕も帰敬式を受けてみようかな。でも、僕、自信を持って仏教徒って言えるかな。仏教についてまだ知らないことが多いよ。



立派な仏教徒になって、帰敬式を受けるのではありません。ご先祖やさまざまなご縁を通して、私に届けられた大切な願いを聞いていこうというスタートラインに立つのだよ。そして、親鸞聖人につらなる「なかま」として、ともに人生をあゆんでいきましょう。

生きている今、法名をいただきましょう



記念品



本願寺の国宝の本堂で、厳かな雰囲気を受け、生きる方向が与えられた気がしました。また、記念の念珠や式章もいただき、生きている間に受式できて本当によかったです！



わくわくしたり
ほっとしたりする場所
いのちとこころが
あたたかくなる場所



落語の後のトーク &
抽選会も楽しい♪



笑うって素晴らしい！
落語は芸術ですね



見えていないのに
目の前に愛おしい世界が広がる

セットも何もないのに、そこが動物園になったり、江戸の
奉行所になったり。手拭いがお財布になったり、扇子がお
箸になったり。目を動かすだけで、仲間と美味しそうにお
うどんをすすっているように見える。
自然に湧き上がる笑いに身を任せながら、落語家さんの
並々ならぬ努力、心遣い、受け継いだ伝統が技となって現
れているのだと感動してしまいました。



正覚寺寄席

10月2日(木)
桂吉弥さん・桂弥っ子さん



生きたる世界を言葉でとらえる
誰かと一緒に味わう

やさしい俳句教室

8月23日(土)
10月25日(土)



みんなの句に感心したり 種明かしに爆笑したり
先生の話に聞き入ったり 俳句作りに苦闘したり

奥深い俳句の世界を少しだけ見せていただきました。
いつもの風景が少し変わったような気がします。



語りあうのもたまにはいいね

寄せ報恩講

11月23日(日)

幸せはどんな時に？

夜 お布団に入ったとき
朝 目覚めたとき
友達とご飯を食べているとき
孫がやさしい言葉をかけてくれたとき
息子がご飯をおいしいと言ってくれたとき
お寺でこんなふうに過ごせるとき！

悲しみを経験した先で また 幸せを感じることもあるんだね

人生は苦なりとお釈迦さまはおっしゃいました

悲しみ 苦しみ 喜び すべてを包みこむ幸せの世界があると 教えてくださっているのかな



ガラガラ音がいいんだよね



住職のひいたカードの数字とマークを当てますよ



頑張らなくていいんだね
麻田さんのはんこはあたたかい

消しゴムはんこワークショップ

12月13日(土)

お手本と比べないでくださいね

100点満点じゃないとダメだって 決めちゃってませんか

なにかと比べて、モノの価値を喜んだり、悲しんだり
そんな現実の中で生きているけれど

それは長続きする喜びではないなあ

比べなくても ありのままの姿に喜べる世界
私が喜ぶ前に 喜んでくださる仏さま
心にそんな世界を持てたらいいな



これからのお寺と僧侶のための研修会を開催しました

2025年12月12日(金)

登壇者 麻田弘潤(極楽寺住職)
海野紀恵(本覚寺衆徒・フリーアナウンサー)
橘堂麻美(正覚寺衆徒)



「伝統を大切にしながら、これからの社会にあったお寺のあり方を考える」をテーマにし、全国各地から、様々な悩みや課題を抱えた方々にご参加いただきました。正覚寺の衆徒である橘堂麻美は、大きなイベントを開催した経験をお話いたしました。

立場も状況も異なる参加者が集まり、ひとりで抱え込むのではなく、みんなで考える時間となりました。

また、事前に LINE 公式で実施したアンケートにご協力くださった皆さま、ありがとうございました。正覚寺と関わってくださるきっかけは人それぞれですが、寄せられた声からは、やはり仏さまのお話、いのち、こころのお話を大切にお伝えしていくことを求めているのだと感じました。

皆さまがお寺で語られる言葉に、私自身が助けられることも多くあります。いろんな言葉が生まれる空間っていいですね。

正覚寺の本堂で、何ができるだろう、どのように対話を重ねていけるだろうか。さまざまな取り組みを通して、皆さまと一緒に心ゆたかに道を歩めたらと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

納骨壇の申し込み

故人の家族や親族に代わり、永代にわたって
ご遺骨をお預かりいたします

ご相談
受付中

お釈迦さまのご遺骨と阿弥陀さまのそばに

正覚寺にはスリランカから奉迎したお釈迦さまのご遺骨である仏舎利が**おさめ**られています。私たちを仏さまの世界に出遇わせてくださったご先祖方を、より一層身近に感じていただけたと思います。



本堂の後ろ側に 48 区画
サイズ：横幅 350mm 奥行 260mm 高さ 275mm

正覚寺オリジナルデザイン

金色の扉には、副住職がデザインした菩提樹の葉が**あしら**われています。菩提樹は、お釈迦さまのさとりの心やすらかな世界をあらわしています。

場所の選択は先着順です

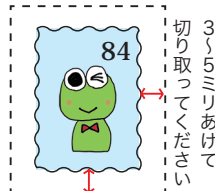
**ご予約のある方は
お早めにご相談ください**

永代合同墓も建設計画中

**お墓の継承が困難に
なっても安心です**

使用済み切手募集

いつもご協力ありがとうございます。集まった切手は本願寺仏教婦人会が推進するダーナ活動を通じてユニセフに寄付いたします。



SNS も



正覚寺だより

あたらしい自分に出遇うきっかけに



LINE 公式と Instagram 公式アカウントの発信をしています

500 文字のお手紙

仏さまの教えの味わいを写真と 500 文字のメッセージでお便りします。お寺の取り組みの中でも、いちばん時間をかけるところです。

仏教を味わう情報発信！

博物館や美術館、テレビ番組、本願寺のイベントなどの情報をお知らせします。また、観覧した感想もお送りします。

正覚寺の催し情報

法要はもちろんワークショップや催しの情報をお知らせ。人気のあるものは数時間で満席に。ラインの方が少し早く情報が届きます。

法事や葬儀、お参りの依頼

24 時間いつでも、好きな時にご依頼いただけます。通常 1 日以内に返信いたします。内容を後から見返すこともできるから便利ですね。

質問やご相談、会話

分からないことはお気軽に質問を。日頃感じる疑問やお悩みもお気軽にどうぞ。分かることはお答えし、分からないことは一緒に考えます。

おまけ Instagram ストーリーズ

お参りで出遇ったかわいい子たち、お寺犬くららや花の様子を配信。「かわいい！癒される！」とご好評をいただいています。



ライン公式



SENDU.SHOCAKUJI
インスタグラム

